

参加
無料

定員

210名

令和
8年度

静岡県

災害ボランティア

シンポジウム

2026

11.18

WED
水

13:30

13:00
受付開始

▶ 16:00

静岡県総合研修所 もくせい会館

1階富士ホール

● 13:00 受付開始

● 13:30 開会挨拶

● 13:35 基調講演

**多様な視点を取り入れた
防災・減災の取組**

～誰一人取り残さない地域防災力～

● 14:35 休憩

● 14:45 パネルディスカッション

一人ひとりの気づきと参画

～被災地の事例から～

● 15:55 閉会挨拶

● 16:00 終了

基調
講演

**多様な視点を取り入れた
防災・減災の取組**

～誰一人取り残さない地域防災力～

一般社団法人
男女共同参画地域
みらいねっと 代表理事

おさない せきこ

小山内 世喜子 氏



パネル
ディスカッション

一人ひとりの気づきと参画 ～被災地の事例から～

コーディネーター

(社福)全国社会福祉協議会
内閣府災害ケースマネージャー
都道府県総括マネージャー

わたなべ まゆ

渡邊 麻由 氏

パネリスト 静岡県被災者支援コーディネーター

賀茂
松崎町

たまき ゆうご
玉木 優吾 氏

高部
富士市

うちの ひろえ
内野 浩恵 氏

中郡
磐田市

こばやし ゆうき
小林 勇貴 氏

高部
磐田市

はらだ ひろこ
原田 博子 氏

主催 静岡県、一般財団法人地域社会ライフプラン協会 後援:公益財団法人静岡県市町村振興協会

※このシンポジウムは、自治宝くじの市町村振興事業として、一般財団法人全国市町村振興協会の助成金を活用して開催しています。

令和
8年度

静岡県

災害 ボランティア シンポジウム

開催趣旨

近年、地震や豪雨などの災害が各地で頻発する中、被災者の生活を支える災害ボランティアの役割はますます重要になっています。避難所等の生活の場では、男女それぞれの視点や得意な役割を生かした協力が欠かせません。被災地では、女性の参画が不十分だったことで着替えやトイレ、配慮などの生活上のニーズが見過ごされた事例もあります。本シンポジウムでは、日常の生活から固定観念をほぐし、誰一人取り残さない地域づくりについて、被災地での実践例を交えながら考えます。

基調講演

多様な視点を取り入れた 防災・減災の取組

～誰一人取り残さない地域防災力～



一般社団法人
男女共同参画地域
みらいねっと代表理事

おさない せきこ
小山内 世喜子氏

1995年第4回世界女性会議に参加し、以後男女共同参画社会づくりに従事。青森県男女共同参画センター副館長・館長を経て2017年から現職。東日本大震災以降「防災と男女共同参画」をテーマに、ジェンダー視点を取り入れた防災教育や避難所運営訓練を、市民・行政職員などのべ4万人以上に全国で実施。能登半島地震・熊本地震でも避難所運営に携わる。第30回ぼうさいまちづくり大賞、第5回ジャパンSDGsアワード特別賞など受賞歴多数。

パネルディスカッション

一人ひとりの気づきと参画 ～被災地の事例から～

コーディネーター

(社福)全国社会福祉協議会
内閣府災害ケースマネジメント
都道府県総括マネージャー

わたなべ まゆ
渡邊 麻由氏

パネリスト 静岡県被災者支援コーディネーター

たまき ゆうご
東部
松岡市
玉木 優吾氏

うちの ひろえ
東部
富士市
内野 浩恵氏

こばやし ゆうき
中部
浜海市
小林 勇貴氏

はらだ ひろこ
西部
浜松市
原田 博子氏

交通アクセス



開催場所

静岡県総合研修所
もくせい会館 1階富士ホール 静岡市葵区鷹匠3-6-1

バスでお越しの場合

「水落町もくせい会館入口常葉
大学水落校舎前」で下車後、徒歩2分

電車でお越しの場合

「JR静岡駅」より徒歩15分
「静鉄日吉駅」より徒歩5分

※お越しの際は、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

参加申込

以下の手順に沿って、オンラインフォームからお申し込みください。※定員になり次第締め切ります。

スマートフォンでのお申し込み

右記の二次元コードを読み取り、
必要事項を入力し、お申し込みください。▶▶▶
QRコードでのお申し込みが難しい場合は、
「静岡県危機情報課」へお問い合わせください。



パソコンでのお申し込みの場合、 下記URLからアクセスしてください。

https://apply.e-tumo.jp/pref-shizuoka-u/offer/offerDetail_initDisplay?tempSeq=22331&accessFrom=

申込締切

令和8年11月9日①まで